

「亀岡市農業委員会 第3ブロック地区連」

(京都府亀岡市第1ブロック連絡会議)(第12回)

「京力農場プラン」
の実質化について

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年11月15日(金) 13:00~
- 場 所: JA京都亀岡西武支店 2階会議室
- 出席者: 農業委員3人、推進委員5人
地区農家組合長 7人
- 報告者: 森田一三 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 市域の北西部に位置する平地・中山間地が混在する農業地域。
- 水稲作を中心とした農業。近年「こと京都」への集積により、「ねぎ」の団地化が進む。
- 新規就農者や若手の農業後継者も多い。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 地域課題として耕作放棄地対策について意見交換したい。市長への要望についても意見をいただきたい。
- 区長、副区長を含めて耕作放棄地の活用について話し合ってきた。
- 高齢世帯にとって、農地が重荷になっている。山裾の農地は守れない。「耕作放棄」は悪いことなのか？
- 区内に援農隊を組織して、草刈りや耕起を行っている。
- 「京力農場プラン」の実質化について(森田現地推進役)
- 米価下落。機械が壊れれば農業の継続は困難。災害復旧にも多額の自己負担。⇒メスを入れる対応を！
- プランの実質化。営農組合が中心となって。⇒農業委員を営農組合の構成員に。

4 活動結果

- 情報・意見交換 **3** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **人** 支援